

## 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身やご家族の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

《試料・情報の利用目的及び利用方法》	●研究の名称 皮膚血管炎の病態解明研究
	●研究の対象 2018年1月～2025年10月に当院皮膚科で皮膚血管炎と診断され、皮膚生検を行った方 同期間に当院皮膚科あるいは形成外科で皮膚腫瘍等の切除術を受けられた方
	●研究の目的 皮膚血管炎（IgA 血管炎など）という病気は、皮膚の中にある血管に炎症が起こる病気で、さまざまな原因やタイプがあります。皮膚に紫色のあざのような発疹や、しこり、潰瘍（ただれ）などが現れるのが特徴です。診断には皮膚の一部をとって顕微鏡で調べる病理検査が使われますが、似たような所見を示す病気が多く、診断が難しいこともあります。現在の治療は主にステロイドや免疫を抑える薬が使われていますが、この病気に特化した治療法はまだ確立されていません。近年は、RNA シーケンシングという技術により、病気が起きている部分の遺伝子の働きを詳しく調べることが可能になっています。しかし、皮膚血管炎ではこのような遺伝子解析はほとんど行われておらず、病気の詳しいメカニズムはよくわからていません。そこで本研究では、皮膚血管炎の患者さんの皮膚から採取した検体を使い、遺伝子の働きを詳しく調べ、健康な皮膚と比較します。これにより、病気の本質的な仕組みを解明することを目指します。また、臨床の症状や病理検査の結果と組み合わせることで、病気のタイプや経過、治療への反応との関連も明らかにしたいと考えています。この研究の成果は、皮膚血管炎のより正確な診断や分類、新しい診断マーカーの発見の実現につながることが期待されます。

## 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	<p>●研究の期間 研究機関の長による実施許可日から 2028年3月まで</p>
	<p>●利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長による実施許可日</p>
	<p>●他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。</p>
«利用し、又 は提供する試 料・情報の項 目»	<p>●研究に使用する試料・情報 情報： 年齢、性別、罹患期間、合併症、治療効果 など 試料：皮膚組織検体</p>
«利用する者 の範囲»	<p>●機関名および責任者名 浜松医科大学 皮膚科学講座 本田哲也</p>
«外国にある 者に対する試 料・情報の提 供»	<p>この研究では外国にある者へ試料・情報を提供しないため、 該当しません。</p>
«試料・情 報の管理につい て責任を有す る者の氏名又 は名称»	<p>国立大学法人浜松医科大学</p>
«試料・情 報の利用又は他 の研究機関へ の提供の停止 (受付方法含 む)»	<p>あなたの試料または情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下«問い合わせ先»をご確認ください。</p>

## 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

«資料の入手または閲覧»	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。
«情報の開示»	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。
«問い合わせ先»	〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学  部署名： 皮膚科学講座  担当者： 栗原 和生  TEL： 053-435-2303  E-mail： kurihara@hama-med.ac.jp